



会社名 株式会社ファーマフーズ
代表者名 代表取締役社長 金 武祚
上場取引所 東証2部 (証券コード2929)
本社所在地 京都市西京区御陵大原1番地49
電話番号 075-394-8600

News Release

各位

2020年10月20日

第23期定時株主総会 ご質問事項への回答

2020年10月20日(火)の第23期定時株主総会の開催にあたり、事前にいただいたご質問の中から、多く寄せられたご質問事項及び株主総会当日に頂いたご質問事項並びに会場内では回答できなかった事項について、以下の通りご回答をお知らせいたします。

Q1. 東証一部上場の時期について

A: 株主の皆様からの東証一部上場へのご期待を強く感じております。東証一部上場は引き続き目指しており、取り組みを着実に進めております。一例として、指名報酬委員会、リスクコンプライアンス委員会の設置等、組織・管理体制の強化を行って参りました。上場時期については、当社が決めるものではなく、またインサイダー事項であるため、具体的に申し上げることはできません。何卒ご理解のほどよろしくお願いいたします

Q2. 田辺三菱製薬株式会社との共同研究契約の進捗状況について

A: 同社との共同研究は、その目標を達成し、想定以上の成果が得られております。独占的ライセンス契約を締結した場合、同社は、開発候補抗体の製造、開発、販売を全世界で独占的に実施する権利を、当社は契約一時金、開発段階に応じたマイルストーン、販売額に応じた一定のロイヤリティーをそれぞれ得ます。現在、ライセンスアウトの契約締結に向け、着実に進捗しております。

Q3. 総額100億円のコミットメントラインの資金使途について

A: 2020年10月8日付で締結したコミットメントライン契約は、各銀行が、当社の事業内容及び将来性を高く評価したものであり、非常に好条件での融資提案を受けたことで実現したものです。資金使途としては、

- ①通信販売事業の広告宣伝投資
- ②創薬事業をはじめとする研究開発投資
- ③将来のM&Aに備えた資金

などを主に想定しています。

今期予想の233億の売上を単純平均すると、月20億円弱です。通常、余裕をもった運転資金としては、売上3か月分程度を想定しており、60億円分は確保できております。そのうえ、好調な事業が今後さらに拡大し、300億円規模の売上となった場合でも、それに備えた事業資金が確保できております。

Q 4. 社長交代の時期や後継者の考えについて

A： 社長である私自身が今も事業に対する強い意欲をもっております。健康関連企業として、私自身、日に日に健康になっておりますので、今後も全力で経営にあたる所存です。

一方で、若い経営陣や幹部も育ってきております。後継者の選定は今後の経営上の課題として検討してまいります。

Q 5. 配当等株主還元策について

A： 今後も積極的な成長を目指しつつ、投資とのバランスを考えながら配当を増額できるよう取り組んでまいります。

Q 6. 悪性腫瘍プロジェクトの進捗状況について

A： 当社の独自技術であるニワトリ由来の抗体作製技術「ALAgene[®] technology（アラジンテクノロジー）」を用いて、製薬企業と提携ができるよう引き続き取り組んでおります。

Q 7. 海外展開は機能性素材で行うのか、通販商品で行うのか。

A： これまでは機能性素材中心で考えておりましたが、ニューモ[®]育毛剤のように、当社の完成品がブランド化された結果、海外からも引き合いをたくさんいただいております。今後、機能性素材、通販商品両面での東南アジア、そして中国をはじめとした海外での販売を拡大してまいります。

Q 8. 通信販売事業におけるニューモ[®]育毛剤の比率について

A： 現在、通信販売事業での広告宣伝費の7～8割がニューモ育毛剤になっております。売上も以前はタマゴサミンが主力でありましたが、現在はニューモ育毛剤が主力となっております。

Q 9. 他社から買収されるリスクについて

A： 買収リスクについては、意識をしております。投資をいただくこと自体は必ずしも悪いことではないと認識しております。まずは業績を上げ企業価値を高めていくことが、最善であると判断しております。

Q 10. 110億の広告宣伝費の算定根拠について

A： 主要なアイテムごとに、単価、継続率等に基づく収入により、広告宣伝費が1年以内に回収できるかどうかを基準としてCPO目標として想定しております。

今期においては、その想定以下での定期顧客獲得ができると見込んでおり、会社全体の利益目標が守られる範囲内での広告宣伝費への投資額を算出しております。